

第2回 阿賀野市観光協会設立検討委員会 「会議録」

- 1 日 時 令和7年3月21日 13:30～15:15
- 2 場 所 阿賀野市役所 402会議室（4階）
- 3 委 員 高橋修、石塚千賀子、荒木風太、齋藤雄介、土井一心太、遠藤和人、坂井文、安永俊、西山豊、永松健太郎、五十嵐敏郎
- 4 事務局 商工観光課：大橋部長、田村係長、浅川主任
阿賀野市商工会：田上室長
- 5 傍聴者 0名
- 6 報 告
(1) 第1回観光協会設立検討委員会議事録
- 7 議 題
(1) 阿賀野市観光協会の自立について
【添付資料】
 - ・阿賀野市観光協会規約
 - ・阿賀野市観光協会令和5年度決算書・令和6年度予算書
 - ・観光協会の設立資料
- 8 提 案
(1) 「ふるさと納税」での体験パッケージについて
- 9 会議の内容

(会議の公開について)

○職員 会議に先立ちまして、本検討委員会は「阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条第1項（公開の基準）にあります、「審議会等の会議は、原則として公開する。」の規定により、公開での開催とさせていただきます。

また、要綱第7条に基づく議事概要は委員の皆さまの氏名を伏せたうえで、発言内容を議事録として公開させていただきます。

このため、委員の皆さまの発言内容を録音させていただきますので宜しくお願い致します。

1 開会

○職員 ご苦勞様です。本日はお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。ただいまから第2回阿賀野市観光協会設立検討委員会を開会します。先日の議会で条件付きではありますが、前年度比4,000千円増の11,470千円の予算を確保することができました。瓢湖周辺整備、旅館組合のモニュメント作成、道の駅あがののモニュメント作成など周辺施設の整備に予算を確保しました。商工観光課としては、やっとな観光振興がスタートしたのと考えており、これから加速するために観光協会の組織は重要なため、新たな観光協会を設立するために必要なものをイメージし、議論を深めていただきたいと思います。

2 委員長挨拶

○委員長 観光協会の設立ということで、今回私が委員長をさせていただき、目指すものはベストなものでなく、ベターなもので考えています。変わるべきものは変わらなければいけない、これがベストなので変わらなくて良いというものではない。皆さんからご協力を頂いて、逐一変えながらいいものに変えられるように進められればと考えています。どうぞ宜しくお願いします。

3 報告

(1) 第1回観光協会設立検討委員会議事録について

○委員長 事務局より説明願います。

○職員 議事録につきましては、1月24日付けで検討委員の皆様へメールで照会・確認いただいていますので、本日は説明を省略させていただきます。

4 議題

(1) 阿賀野市観光協会の自立について

○委員長 事務局より説明願います。

○職員 6ページから9ページが現在の阿賀野市観光協会の規約です。

※抜粋して説明

10ページから13ページについては、前回の検討委員会で観光協会の予算を参考までに資料として添付いただきたいとの要望がありましたので、総会資料より令和5年度の決算書と令和6年度の予算書を付けさせていただきました。

別冊については、事務局で事前に準備しておりました、観光協会を設立するために必要になると思われる資料を別綴りで資料として添付しました。

以降につきましては、あくまでの事務局の案としてご確認いただければと思います。

「1. 観光協会の設立について」は1ページ目になりますが、第1回検討委員会で説明させていただきましたので省略させていただきます。

「2. 観光協会の組織」については3ページ、一般社団法人として独立した場合の組織構成の説明になります。

「3. 観光協会の事務局」については5ページ、事務局職員の体制についての説明になります。

「4. 観光協会の理事会について」は6ページ、理事の選出団体案を記載させていただいています。

「5. 観光協会庶務規則（案）」は7ページ、ここでは観光協会事務局として行う事務処理基準を定め、庶務規則として記載させていただいています。

「6. 観光協会定款（案）」は12ページ、一般社団法人 阿賀野市観光協会の骨格ともいえる、経営していくための基本的なルールが記載されています。

「7. 観光協会の事業計画」は26ページ、事業方針が最初に記載してあり、その事業方針に基づく事業計画や組織運営について記載してあります。

「8. 観光案内所設置規定（案）」は28ページ、独立後の観光協会の取り組みの一つとして、市内の公共施設を観光案内所として引き受けて行うものです。その際には、市から指定管理を受け、観光協会として運営していくことを記載してあります。

一方的に事務局の方から、説明をさせていただきました。

庁舎内全体の業務を見ても、事業を運営する商工観光課の職員についてはほぼ現状のまま、これ以上の増員は難し状況であろうと事務局は推測しています。

そのため、阿賀野市の新たな観光事業を行うために、観光協会を自立し、職員を雇用する必要があります。

そのため、地域おこし協力隊を活用し、事務局として3年間勤めていただき、その間に観光協会の財源となる事業を見出していただければと考えています。

○職員 今回の資料については、2年前に観光協会員からの話により私が作成してきたものであり、前回の検討会を踏まえて作ったものではありません。

○委員長 独立することに意義があったとは認識していましたが、今一度確認させてください。意義ないですね。（一同同意）

この事業計画の素案に沿ってすすめてはどうか。

○職員 この内容や体制でいいのか、皆さんから意見を頂きながら進めさせていただきたい。

○委員長 今ほどの説明についてどうでしょう。

○委員 皆は何から決めていけばいいのか分かっていないと思う。どうやって設立するかでなく、設立したと仮定して進めるしかないのでは。

○委員長 現段階の状況で決めていくしかないのでは。組織図について意見はありますか。他の観光協会との比較はありますか。

○職員 他のところは事務局3～4名とのことです。

○委員長 この組織図をベースに進めていって良いか。

○一同 異議なし

○職員 次は事務局体制ということですが、お金がかかるので、何名が良いか悩ましいですが、事務局長はまとめ役になるので、知識と経験のある方を。事務局員は3年間人件費のかからない、地域おこし協力隊で賄ってはどうか。

○委員長 モデルケースがあれば。

○職員 今回の内容に合わせてモデル的な試算をして、皆さんに提示します。

○委員長 理事会の選出について母体は、今はどうなっているのか。

○職員 今はない。

- 委員長 では、今回新たに決めましょう。理事数については14名程度の規模にしましょう。
- 職員 庶務規則は事務的なものなので後ほどよいでしょう。定款は観光協会の一番大事な部分なので決めていただきたい。事業計画の部分が予算に反映するのでここは皆さんから決めていただきたい。
- 委員長 目的があって、それに向かって進むことから、目的が大事では。
- 職員 他の観光協会の定款の目的を確認して、抜粋して次回に提示します。
- 委員長 観光案内所は必要か。
- 委員 新発田駅に行くと駅前にある。あのよう目立つ場所にあればよいが。うららの森の場所は、観光案内に適しているから作ったのでは。
- 委員長 阿賀野市にとって便利なところは道の駅では。冬になれば瓢湖でも。
- 委員 観光協会の必要な部分は、事前に電話対応することがあるので、観光案内所と事務所は一緒でなくてもいいのでは。周りの人が必要と思えば作っては。
- 委員 市はパンフレットを置いていだけで、発信の仕方、意図が分からない。
- 副委員長 駅からカードはいい発信の仕方である。観光案内を設置する必要性や、内容が変わってきている。
- 職員 情報の統一が出来ていないので、そこは取りまとめればいいのでは。
- 委員 阿賀野市の情報量が一番多いのが道の駅では。全体をカバーできるのが道の駅ではないのか。観光客の要望に沿った発信の方法が良いのでは。人を配置するのではなく、今の時代にあった、発信の方法が良いのでは。
- 委員 モデルコースがあった方が良いのでは。それを見て市内を周遊するのもいいのでは。
- 委員長 しっかりした情報を蓄えて対応できる状態であれば、観光案内所は機能するのではないか。単なる道案内でなく内容を案内できる機能が必要ではないか。
- 委員 専門的な人が必要になってくる。リアルタイムで対応できる窓口になる。ネットの情報が更新されていない現状がある。
- 委員長 人がいればコストがかかる。
- 委員 今の観光協会と自立した観光協会の違いは何ですか。
- 委員 基本的に変わらないのでは。民間の方が進め方が速いし、そこに稼ぐということが加わるのではないか。
- 委員 専任の方が最低10年はいてほしい。
- 委員 最初からパートを雇うのではなく、専任の人を雇用していった方がよい。
- 委員 人が集まる場所に人を配置した方がよい。
- 委員 事務所などの場所なども我々が決めなければいけないのか。そこまで権限を持っているのか。この予算で人件費の問題もある。
- 職員 そのあたりの必要な部分は市の方に要望する。県とか、他の市では観光協会が観光課の隣に事務所を設置して、一緒に連携してやっていくこともいいのでは。我々が悩んでいるのが、今年自由度がある予算を200万円確保したが、国の事業で採択された時に使える予算として確保した。色々な事業を今後進めるうえで、今の体制では人手が足りない。観光協会職員がいて、事業を実施していくことも必要。

○**委員長** 自由度を持つということはスピードを持って処理ができることを目指している。そのために事務所をどこに設置するのか。案内所に職員を配置することで予算を取られる。補助金といっても限度がある。事務局と案内所を兼務する考えもある。

○**職員** 商工観光課の事務所の隣にあった方が良くと思う。加茂市についても、この度自立して観光課の隣に観光協会の職員3名が配置されている。

○**委員** 色んな場面を考えると、商工観光課の隣が業務を進めるうえで利便性が高い。

○**委員長** 他の観光協会での案内所の情報共有について把握が可能か。情報発信と問い合わせに対応する情報共有は別でも良いともう。観光協会は市役所の中で、観光案内所を設けない方向でとりあえずよいか。

○**職員** どのくらい経費が掛かるか、情報の共有について次回までに準備します。

5 提 案

(1) 「ふるさと納税」での体験パッケージについて

○**委員長** 副委員長から「ふるさと納税」での体験パッケージについて提案がありますのでお願いします。

○**副委員長** 阿賀野市の魅力は、魅力的なコンテンツが複数あることです。ですが、つながって認知されていないのと、実際点在している不便さがあると思います。そこで、ふるさと納税案として、タクシー会社と提携して「語りべつきタクシー」で一日一組限定などで、高額設定でその人の希望を組んだセミオーダーのような観光スケジュールを組んだ打ち出しがあってもいいのかなと考えました。

○**委員長** この内容を観光協会に充てられて、収入に繋がればなおさらよいのでは。

○**委員** この内容だと、年収1,500万円くらいですか。

○**副委員長** 概ねその通りです。

○**委員長** 高所得者を対象にするのもいいかもしれない。タクシーについても普通の車でなく、それなりの車を使用した方が良くのでは。これをブラッシュアップしていければ。

○**委員** 選ばれるためのインフォメーションが重要になってくるのでは。

○**委員長** 情報発信で重要なのは、若い子の感性である。観光協会も情報発信が重要になってくる。今後の参考にしていただければ。

6 その他

なし

7 閉 会

○**職員** ありがとうございました。準備するものは次回までに準備させていただきます。なお、第3回の検討会につきましては、5月頃に開催したいと考えております。

また、改めて日程調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、第2回阿賀野市観光協会設立検討委員会を終了させていただきます。